

代表者名	加藤 哲郎	所管部課名	健康福祉部健康推進課
所在地	秋田市千秋久保田町6番6号	設立年月日	平成7年3月29日

【沿革及び県の出捐理由】

移植医療の推進を図り、県民の医療の向上のため、県等の出捐により(財)秋田県臓器移植推進協会として平成7年3月29日設立。平成17年4月、角膜移植等を推進してきた(財)秋田県アイバンクと統合し、名称を(財)あきた移植医療協会に改称。

【出捐者】(22年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	74,810	43.5
市町村	25	73,820	43.0
その他	64	23,160	13.5
計	90	171,790	100.0

【事業】

主たる業務

臓器移植に関する法律に基づく移植医療についての正しい知識の普及と角膜移植を含めた臓器移植に対する理解を深めるため、各種啓発事業を実施するとともに、医療機関との連携体制の整備や院内コーディネーターの研修を実施する。

事業実績

(枚、力所)

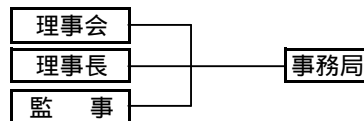
事業名等	19年度	20年度	21年度
意思表示カード等の配布	52,210	55,075	45,053
コーディネーター活動	473	543	443

21年度事業概要及び22年度事業計画・目標

普及啓発事業は、意思表示カード等の配布を公共機関、医療機関等に設置するとともに、街頭キャンペーン、種苗交換会においても実施したほか、臓器移植フォーラムを開催した。また、医療関係者普及啓発事業では、院内コーディネーターの研修会を開催したほか、臓器提供マニュアルの作成・改訂の支援を行った。さらに、臓器不全の予防普及啓発事業「腎臓病を考える集い」を開催した。22年度は、改正臓器移植法の周知など引き続き普及啓発事業を重点にし、臓器提供意思表示欄の導入を推進するほか、財源確保のため賛助会員の拡大等に努める。

【組織】

運営機構



役員数(H22.7.1現在)

(人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤	15			2
内、県退職者	1			1
内、県職員				
計	15			2
内、県関係者	1			1

職員数(H22.4.1現在)

(人)

正職員	2	正職員 平均年齢 50歳	正職員 平均勤続年数 7年
内、県退職者	1		
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	2		
内、県退職者			
計	4		
内、県関係者	1		

正職員平均年収 3,437千円

役員報酬支給対象者数	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額	千円/年

【財務】

損益状況(21年度)

(千円)

	金	額
経常収入 A	9,627	
受託事業収入	5,634	
補助金収入		
自主事業収入	400	
運用益収入	1,613	
その他	1,980	
経常支出 B	15,238	
人件費	10,917	
その他	4,321	
経常損益 C = A - B	5,611	
経常外収入		
経常外支出		
諸税		
当期損益	5,611	

財務状況(21年度末)

(千円、%)

	金	額	構	成	比
流動資産	33,092		15.9		
固定資産	174,780		84.1		
資産計	207,872		100.0		
流動負債	162		0.1		
短期借入金					
固定負債					
長期借入金					
負債計	162		0.1		
基本金	171,790		82.6		
剰余金	35,920		17.3		
正味財産計	207,710		99.9		
負債・正味財産計	207,872		100.0		

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
----------	------	-----	-----

【県の財政支出】

(千円)

	19年度	20年度	21年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	2,000			角膜移植事業運営費補助金
委託費	6,475	6,290	5,634	臓器移植連絡調整者設置委託費
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	19年度	20年度	21年度	19-20増減	20-21増減
健全性	自己資本比率	%	99.92	99.93	99.92	0.01	0.01
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	24,561.75	24,612.66	20,427.16	50.91	4,185.50
収益性	剰余金(欠損金)	千円	46,362	41,531	35,920	4,831	5,611
	経常利益率	%	49.00	63.40	58.28	14.40	5.12
	総資本利益率	%	2.66	2.92	2.70	0.26	0.22
発展性	経常収入額	千円	11,832	9,829	9,627	2,003	202
効率性	総資本回転率		0.05	0.05	0.05	0.00	0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	2,958	2,457	2,407	501	50
	人件費比率	%	96.86	113.27	113.40	16.41	0.13

2 経営目標の達成状況

経営目標			19年度	20年度	21年度	22年度
経営改善指標	人件費比率(人件費/公益事業支出)%	目標	67	61	61	70
		実績	67	71	72	
事業成果指標	県委託費の割合(%)	目標	68	61	61	60
		実績	71	64	59	
事業成果指標	意思表示カード等	目標	57,000	57,000	57,000	50,000
		実績	52,210	55,075	45,053	
事業成果指標	院内コーディネーター設置病院の割合(%)	目標	77	77	82	85
		実績	82	82	82	
顧客満足度指数		目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

移植医療に関する正しい知識の普及と理解を得るため、普及啓発資料、意思表示カードを公共施設、医療機関等へ設置したほか、各種イベントにおいて配布した結果、県民のカード所持率は上向いており、理解は得られてきているものの、臓器の提供実績は横ばいであり、地道ではあるが、引き続き普及啓発に努める必要がある。また、院内コーディネーター設置病院の拡大を図るほか、医療施設の連携に向けた活動を強化していく必要がある。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
<p>・寄付金収入は前年度より増加したものの、コーディネーター設置事業費は、前年度に引き続き、同委託料を大きく上回っている状態が継続しているため、経常収支は、前年度の赤字水準よりは改善がみられるが、5期連続の赤字となった。このため、同事業以外の普及啓発事業費及び管理費を賄う収入の確保が急務である。</p> <p>・現状の試算では、剰余金は前年度に引き続き減少しており、35百万円は平成27年度頃で消滅することが予想されるため、法人のあり方を早期に見直すことが望まれる。</p>	